

平成24年度 事業報告書

(自 平成24年4月1日 ～ 至 平成25年3月31日)

各部・委員会報告

1 代表理事・庶務部報告

代表理事 小 川 経 男
庶務部長 新 井 博

主な活動報告

(1) 会議開催について

ア 定時社員総会

5月20日(日) 13時30分～14時30分、長崎市市民会館文化ホール 1階
大会議室。

以下の各議題について審議された。

- (ア) 平成23年度事業報告、決算報告及び監査報告に関する承認の件、承認。
- (イ) 平成24年度事業計画(案)に関する承認の件、承認。
- (ウ) 平成24年度予算(案)に関する承認の件及び補正予算を理事会に委任することに関する承認の件、承認。
- (エ) 一般社団法人定款(改正案)に関する承認の件および付帯規程(案)(日当規程、旅費規程)。に関する承認の件、承認。
- (オ) 社員名簿の配付に関する承認の件、承認。
- (カ) その他の件。

イ 第1回理事会

4月8日(日) 13時～17時、長崎市障害福祉センター 5階 会議室。

以下の各議題について審議された。

- (ア) 平成23年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について、承認。
- (イ) 平成24年度事業計画(案)について、承認。
- (ウ) 平成24年度収支予算(案)について、承認。
- (エ) 一般社団法人定款(改正案)について、承認。
- (オ) その他(① 社員名簿の配付について、②平成24年度定時社員総会にかかる資料・議題などの確認及び役割分担・タイムスケジュール等について、③定款、規程集の配付について、④ 全鍼師会総会等の出席について、⑤九連会議出席について)承認。

ウ 第2回理事会

6月17日(日) 12時～17時、諫早市中央公民館(市民センター) 3階 第3講

座室

以下の各議題について審議された。

- (ア) 平成24年度定時社員総会における総括および議決事項確認について、承認。
- (イ) 一般社団法人移行後の手続き等について、承認。
- (ウ) 九州鍼灸マッサージ師会連盟代表者会議報告について、承認。
- (エ) 全鍼師会定時総会等報告について、承認。
- (オ) 平成24年度事業について (① 年間タイムテーブルについて、② 事業計画及び提案事項について、③ 定款、規程の社員への配付について (配付規程の選別、配布時期等)、④ ホームページの更新について) 承認。
- (カ) その他 (① 佐賀県師会学術案内について、② 一般社団法人運営上の照会記録の整備について、③ 全鍼師会における本会選挙管理委員について) 承認。

エ 第3回業務執行理事会

3月17日(日) 13時~17時、諫早市中央公民館(市民センター) 3階 第3講座室。

以下の議題について審議された。

- (ア) 平成25年度予算編成について、承認。
- (イ) 平成25年度第1回理事会および定時社員総会について、議題・資料確認、タイムテーブル、役割分担等について、承認。
- (ウ) その他 (① 全鍼師会 「月次お知らせ文書」の社員への周知について、② サンデー毎日記事の社員への周知について) 承認。

(2) 渉外等活動について

- 4月11日(水) 代表理事 佐賀県師会へ九州鍼灸マッサージ師会連盟代表者会議出席報告をFAX。
- 4月12日(木) 代表理事 長崎県後期高齢者医療広域連合事業課へ後期高齢者医療はり、きゅう施術費の助成についてメール。
- 4月12日(木) 代表理事 法人県民税納付。
- 4月13日(金) 代表理事 全鍼師会事務局へ定時総会出席報告をFAX。
- 4月20日(金) 代表理事 佐賀県師会へ九州鍼灸マッサージ師会連盟代表者会議資料をFAX。
- 5月7日(月) 代表理事 中央総合会計事務所へ御礼状を送付。
- 5月7日(月) 代表理事 司法書士へ御礼状を送付。
- 5月7日(月) 代表理事 県総務文書課公益法人改革班へ御礼状を送付。
- 5月12日(土) 13日(日)
九州鍼灸マッサージ師会連盟代表者会議 佐賀市iスクエアビル 代表理事代理として下釜学術部長出席。
- 5月22日(火) 代表理事 長崎県総合福祉センターへ利用申込書FAX。
- 5月27日(日) 28日(月)

- 全鍼師会定時総会 ホテルルポール麹町 代表理事出席。
- 6月13日(水) 代表理事 県医療政策課へ平成23年度事業報告書を送付。
- 6月22日(火) 代表理事 福島哲也先生へ講師依頼状を送付。
- 6月22日(火) 代表理事 広橋憲子先生へ講師依頼状を送付。
- 7月2日(月) 代表理事 田中保郎先生へ講師依頼状を送付。
- 7月24日(火) 代表理事 全鍼師会事務局へ平成24年度生涯研修開催届関係書類を送付。
- 8月16日(木) 代表理事 長崎県県税事務所へ法人異動届についてTEL。
- 8月16日(木) 代表理事 長崎県県税事務所へ法人異動届を提出。
- 9月10日(月) 代表理事 福島哲也先生へ御礼状を送付。
- 10月5日(金) 代表理事 全鍼師会事務局へ都道府県師会会長会出欠席届をFAX。
- 10月14日(日) 15日(月)
第11回東洋療法推進大会 in 静岡 熱海後楽園ホテル 代表理事代理として佐藤保険部長出席。
- 10月15日(月) 代表理事 全鍼師会事務局へ講師派遣・業務派遣申請書を送付。
- 11月1日(木) 代表理事 長崎中央消防署へ講師派遣依頼状を送付。
- 11月11日(日) 全鍼師会師会会長会議 ホテルルポール麹町 代表理事出席。
- 11月20日(火) 代表理事 広橋憲子先生へ御礼状を送付。
- 12月4日(火) 代表理事 長崎県医師会へ「国民医療を守るための国民運動」に伴う長崎県地域医療推進協議会代表者会議についてFAX。
- 1月28日(月) 代表理事 田中保郎先生へ御礼状を送付。
- 1月29日(火) 代表理事 全鍼師会事務局へ生活保護者へのあはき施術の拒否等についてメール。
- 2月9日(土) 代表理事 長崎県立盲学校へ平成24年度卒業証書授与式並びに修了証書授与式並びに修了証書授与式の出席についてFAX。
- 2月9日(土) 代表理事 長崎柔鍼スポーツ専門学校へ平成24年度卒業証書授与式の出席 について送付。

- (3) 社員異動について、本会および全鍼師会へ各種手続きを行った。
- (4) 社員、外部へ対し、文書の発受を行った(発信については、24県鍼発第1号～29号、事務連絡文書ほか)。また、必要に応じ視覚障害者対策委員会と連携し、点字使用社員へは、点字による文書の作成、発信を行った。
- (5) 社員に対し、「定款・規程集」の発行を行った(全員に墨字版及び点字版。)
- (6) 社員に対し社員名簿の発行を行った(墨字版、点字版、メール版。)
- (7) 「一般社団法人運営に係る県等照会記録文書」のとりまとめを行った。

2 財務部報告

- (1) 財務部では、納入された会費や会務活動に伴う経費の支出等、公益法人会計基準を順守し会計処理を適正且つ円滑に行うよう努めた。

3 学術部報告

学術部長 下釜光弘

学術部においては、社員の資質向上と社会的評価を高めるために次のような研修会を開催し、学・術の研鑽に努めた。なお、研修会は東洋療法研修試験財団が推進している生涯研修制度の承認通知を受け、規程に基づき開催した。また、ながさき県民大学へも連携講座として登録し広く一般にも公開した。

(1) 東洋医学秋期講座

9月2日(日) 場所 長崎県総合福祉センター
午前はテーマを「深谷灸法に学ぶ効かせる灸治療」、また午後は「その他の灸法および古代九鍼について」とし、東京医療専門学校教員養成科非常勤講師、灸法臨床研究会講師、東京九鍼研究会講師の福島哲也先生を講師に開催した。

(2) 東洋医学冬期講座(午前・午後とも公開講座)

11月18日(日) 場所 長崎県総合福祉センター
午前はテーマを「深部組織(ディープティッシュ) マッサージの実際」、また午後は「スポーツマッサージについて パート2」とし、筑波技術大学非常勤講師(マッサージ担当)、ロンドンオリンピック「競泳日本代表チーム」公式トレーナーの広橋憲子先生を講師に開催した。

(3) 東洋医学新年講座(午後は公開講座)

1月20日(日) 場所 長崎市中央消防署、長崎市立図書館
午前はテーマを「普通救命講習」とし、長崎市中央消防署救急隊の宮本啓雅先生を講師に迎え、また午後は会場を移動ののちテーマを「東洋医学考根論～腸内細菌と免疫～」とし、西諫早病院東洋医学科の田中保郎先生を講師に迎え公開講座を開催した。なお、受講者は114名であった。

今年度は、長崎県立盲学校や鍼灸専門学校の学生・職員の参加もあった。

また、円滑な研修会を開催するため学術部会を設置し25年2月16日(土)長崎障害福祉センターにて学術部会を開催した。

なお、学術部会は、小川経男(代表理事)・岩下登・新井博・大坪浩次・下釜光弘で構成している。

- ※ 事業を実施するにあたり、以下の会務を行った。
- 4月 9日 (月) 全鍼へ生涯研修制度について連絡。
 - 5月18日 (金) 長翔学園に研修会について連絡。
 - 5月21日 (月) 長崎県総合福祉センターに研修会会場について連絡。
 - 5月22日 (火) 長崎県総合福祉センターに研修会会場使用申請書提出。
 - 5月23日 (水) 長崎県総合福祉センターに研修会会場について連絡。
 - 6月14日 (木) 西諫早病院の田中保郎先生に講師について依頼。
 - 6月15日 (金) 長崎市立図書館に研修会会場について連絡。
 - 7月 1日 (日) 長崎市立図書館にて研修会会場予約手続き。
 - 7月 6日 (金) 長崎市立図書館に研修会会場費支払い手続き。
 - 7月17日 (月) JTBに研修会講師の航空券及び宿泊について依頼。
 - 8月 9日 (木) JTBから研修会講師の航空券及び宿泊券について連絡。
 - 8月17日 (金) JTBに研修会講師の航空券及び宿泊券代支払。講師へ発送。
 - 8月22日 (水) 長崎県総合福祉センターに研修会会場について連絡。
 - 8月24日 (金) 長翔学園に研修会について連絡。
 - 8月26日 (日) 研修会備品購入。
 - 8月28日 (火) こころ医療学園から研修会について連絡。
 - 8月30日 (木) 研修会使用ベッドを長崎市鍼灸マッサージ師会事務所へ取りに行く。
 - 9月 1日 (土) 研修会講師との打ち合わせ。
 - 9月 3日 (月) 長崎県総合福祉センターに研修会会場費支払い。
 - 9月13日 (木) 長崎市中心消防署へ普通救命講座について連絡。県民大学のまなびネットへ連携講座の登録。
 - 10月 5日 (金) JTBに研修会講師の航空券及び宿泊について依頼。
 - 10月 9日 (火) 長崎市中心消防署から普通救命講座について連絡。JTBから研修会講師の宿泊について連絡。
 - 11月 5日 (月) 全鍼から研修会講師派遣費について連絡。
 - 11月 6日 (火) JTBに研修会講師の航空券及び宿泊券について連絡。
 - 11月 7日 (水) JTBに研修会講師の航空券及び宿泊券代支払。講師に発送。
 - 11月17日 (土) 研修会講師と打ち合わせ。
 - 11月20日 (火) 長崎県総合福祉センターに研修会会場費支払い。
 - 11月26日 (月) 長崎市中心消防署から普通救命講座について連絡。
 - 1月 9日 (水) 長翔学園から研修会について連絡。長崎市中心消防署へ普通救命講座について連絡。
 - 1月10日 (木) 長崎市中心消防署から普通救命講座について連絡。長崎市立図書館へ研修会会場について連絡。
 - 1月11日 (金) 長崎市立図書館へ研修会会場の備品について連絡。長崎市中心消防署へ普通救命講座受講者リスト提出。
 - 1月12日 (土) 長崎新聞、NHK、NBC、KTN、NCC、NIBの各報道部へ公開講座の県民告知依頼。
 - 2月 4日 (月) 長崎市障害福祉センター学術部会会場予約。

2月16日（土）平成25年度研修会講師依頼。

上記の他、研修会講師とのメールにて打ち合わせ多数。

その他、小川代表理事、新井庶務部長、牟田口視覚障害者対策委員長、学術部員等と円滑な事業推進のためメールにて必要に応じ打ち合わせを行った。

4 広報部報告

広報部長 浦野弘茂

広報部においては、適正な情報公開を目的とした機関誌について、円滑な発行及びホームページの整備のために、以下の事業を行った。

- (1) 広報部会 11月3日 13時～17時。
長崎市障害福祉センターにおいて広報部会開催。出席者5名。
(審議事項)
ア 「なむしん会報」第42号について
 - ・掲載内容について
 - ・原稿執筆に関する担当者について
 - ・原稿の提出期限について
 - ・発行形態と作成、送付手段、時期についてイ ホームページについて
 - ・掲載内容及び更新状況について
- (2) 平成24年2月
「なむしん会報第42号」発行。(墨字版・点字版・メール版の3種類発行。)
- (3) ホームページ更新等
平成24年7月24日
県民公開講座のお知らせの更新。
治療院のご紹介更新。
学術部研修会開催案内の更新。
(社) から (一社) へ関係する全て更新。
会長あいさつを代表理事あいさつとし内容も含め更新。
公益法人情報公開事項の更新(法令に基づき累積公開項目の見直し。)
事業計画書・生涯研修終了者名簿。

平成25年1月22日

社員名簿の更新。

5 保険部報告

保険部長 佐藤英孝

保険部においては、生保、労災関係書類の整備を行った。又、広域連合保健事業に係る取扱いについて、適切な処理を行うよう努めた。尚、広域連合保健事業の取扱いについては、当該月に請求することを大原則とする。この件についてご不明な点は所属師会又は県鍼師会保険部に照会のこと。

- (1) 10月21日(日)生保・労災取扱い講習会を開催した。
- (2) 生保審査会を開催した。
- (3) 生保、労災取扱いテキストの一部改訂を行った。

6 組織強化部報告

組織強化部長 岩下 登

- (1) 社員台帳の整備。
- (2) 本会入会パンフレットの整備
- (3) 各部と連携し、各部が行う事業に対するサポートを行った。

《社員異動状況報告》

入会者(2名)

退会者(6名)

平成25年3月31日現在 社員総数76名

7 視覚障害者対策委員会報告

委員長 牟田口達也

理事会、学術研修及び広報事業等に対し、必要に応じ点訳処理を行った。なお、点字校正については牟田口、点字印刷および製本については岩下がそれぞれ担当している。